

第3号

荒川区立第二瑞光小学校
たけのこ教室
令和4年9月5日・6日

たけのこだより

2学期が始まり、たけのこ教室に子供たちの元気な姿が戻ってきました。約40日間の長い夏休み、様々な時間を過ごしたことと思います。

2学期は運動会や音楽会など、大きな行事が続きます。安心して楽しく学校生活を送り、一人一人が自分の力を発揮していけるよう、支援していきます。2学期もたけのこ教室へのご理解ご協力をよろしくお願いいたします。

《2学期指導予定日》

【月曜日】

9月 5日、12日、26日
10月 17日、24日、31日
11月 7日、14日、21日
12月 5日、12日

【火曜日】

9月 6日、13日、20日、27日
10月 4日、11日、18日
11月 1日、8日、15日、22日、29日
12月 6日

～来年度たけのこ教室の利用について～

7月の面談でお伝えしていましたが、令和4年度より、たけのこ教室の次年度の利用について変更があります。下記をご確認のうえ、ご協力をお願いいたします。疑問や質問等ございましたら、遠慮なくたけのこ教室までご連絡ください。

○原則の指導期間が1年間となりました（東京都教育委員会『特別支援教室の運営ガイドライン』より）。

1年単位で指導の振り返りを行い、次年度のたけのこ教室の利用について検討していきます。

○来年度のたけのこ教室の利用については、家庭・学校・たけのこ教室の三者の意見をもとに考えます。

○9月にアンケートを配布、10月頃にたけのこ教室より日課表や電話等で、ご連絡させていただく予定です。

○来年度のたけのこ教室の利用について決定後、荒川区に申請をします。申請書の記入をお願いします（継続年数によっては、新たにWISC-IV等の検査結果が必要となりますのでご承知おきください）。

○申請後、区の判定会にて、継続・退室の適否が決定します。

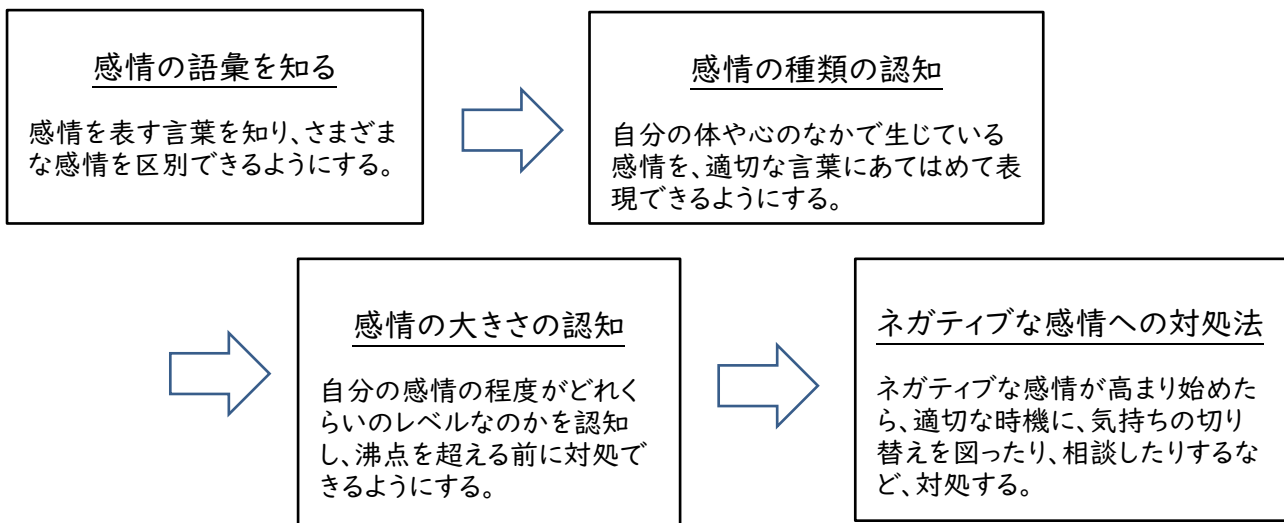
『気持ち』の学習

自分の気持ちを認識し、言葉で伝えることは、人間関係を築くうえでとても大切なスキルです。

自分がどんな時に、どのような気持ちになるかが分かっていると、心の準備ができたり、対処法や気分転換の仕方を考えたりすることができます。また、自分の気持ちを言葉にすることで、相手に理解や共感をしてもらえたり、周囲の人に助けを求めたりすることができます。

自分の気持ちとうまくつきあい、コントロールできるようにするために、たけのこ教室では個別指導や小集団活動で、気持ちの学習を行っています。

《気持ちの学習4ステップ》



『よくわかる SST 事例集』(ナツメ社)、『実践ソーシャルスキルマニュアル』(明治図書) 参照

1学期の小集団活動では、気持ちの学習として、『気持ちバスケ』や『気持ちゲーム』に取り組みました。友達と活動するなかで、同じ体験や出来事でも、人によって受け取り方が違うことや、同じ気持ちであっても程度が違うことに気付くなど、友達の感情を理解することも目的としています。

2学期・3学期も、ステップアップしながら『気持ちゲーム』を行っていく予定です。

気持ちゲームでは『気持ちの温度計』と『表情チップ』を使って、どんなとき、どんな気持ちになるのか、自分の気持ちの種類と大きさを5段階で表していきます。

その後、表情チップと気持ちの言葉を対応させた一覧表を活用しながら、自分の気持ちを言語化しています。

